

～招き猫とはちみつの謎～

名身連さんの活動を紹介します

令和3年10月22日熱田区役所1階にて名身連さんの授産製品の販売がありました。
通常は3か月に1回出店されているのですがコロナ禍の影響で昨年11月以来約1年ぶりの出店でした。



招き猫をあしらった手さげバッグとはちみつ「あつたハニー」を購入しました。



手提げバッグ

葛飾北斎 富嶽三十六景をモチーフとした作品です



あつたハニー とてもまろやかな味です

なぜ猫なのか？なぜはちみつなのか？謎を解くため名身連さんを訪問しました。

熱田区役所の目と鼻の先 JR 熱田駅を通り越しガード下をくぐってすぐに名身連本部会館があります。



谷川事務局長にお話を伺いました。

名身連さんの正式名称は社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会といいます。
昭和 24 年身体障害者福祉法制定を機に「身体障害者の自立更生の援助と福祉増進を図る」
目的で設立されました。

会長の橋井正喜さんは 11 月号の広報なごやで紹介されていますので是非ご覧ください。
https://www.city.nagoya.jp/shicho/cmsfiles/contents/0000013/13636/2111_shiban_ren.pdf

活動は、障害者の就労継続支援、生活介護事業、グループホーム、ヘルパーの派遣、点字作成、講師派遣、研修企画等多岐にわたります。区役所も手話通訳や要約筆記で大変お世話になっています。

ここ本部会館では次のような業務を行っています。

<法人本部（事務局）>

法人の統括。

<ヘルパーセンター>

障害者の方へのヘルパー派遣業務。全市をカバー。

<熱田区障害者基幹相談支援センター>

障害者の方、ご家族、関係者のお困りごとの相談。

<地域活動支援センター>

精神障害者の施設。いつでも気軽に来られる居場所（サロン）。

<旅行センター>

J T Bが入居する本格的な旅行社。一般の方も利用可。

障害者の方が安心して旅行できるプランを提案している。

6 分で完売した人気ツアーもあるとか。

<点字翻訳>



点訳作業の様子



点字翻訳タイプライター

本部会館のすぐ西隣には第一ワークス・第一デイサービスがあります。



通所の施設で生活介護と就労継続支援B型を実施。

ちなみにA型とは、雇用契約ありの就労で最低賃金が保証されているもので、B型は雇用契約は福祉的就労が主な目的となっています。



1階 就労継続支援B型作業風景

授産施設としては大変広いスペースです。



2階 生活介護 歓談の様子

招き猫シリーズはこちらで作成、販売されています。



招き猫が描かれた理由は、名身連に迷い込んだ1匹の猫がきっかけだったとのこと。
詳しくは名身連ウェブサイト「行き倒れニャンコの恩返し〜名身連招き猫シリーズ
誕生秘話」をご覧ください。

<http://meishinren.or.jp/modules/story/>

地域とのつながり

名身連の理念は。

一人一人を大切に誰もが地域で安心して暮らせる社会を目指す

～地域でつながり、ともに歩む名身連～

ということで、地域とのつながりを大切にしています。

1 養蜂事業

実際に本部会館屋上で養蜂をしていました。こんな街中で養蜂とは驚きです。蜜は熱田神宮から集めてきてくれるとのこと。名古屋学院大学現代社会学部水野晶夫教授のご指導で行うようになったそうです。蜜を取り出す作業は大変な労力を要するようです。はちみつの謎が解けました。



本部会館の屋上の様子 みつばちの巣箱が並んでいます。

2 宮宿会との連携

毎月朔日市に出店しています。

3 ちゃりちゃりの管理

第1ワークスの敷地の一角にちゃりちゃりを誘致しています。また、熱田区エリアのシェアサイクル基地の清掃、メンテナンスを請け負っています。



4 ペットボトルキャップの回収ステーション

本部会館入り口付近に設置